

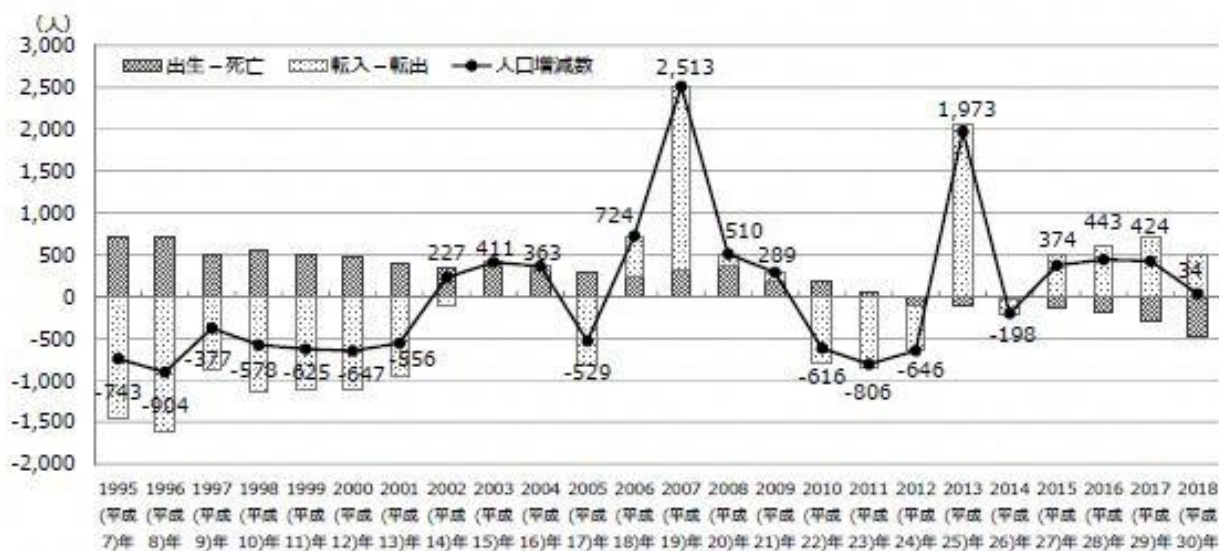
本市の「今後の課題」と関連データ

(課題認識は「第3期基本計画策定にあたっての前提」を基礎に追加・修正)

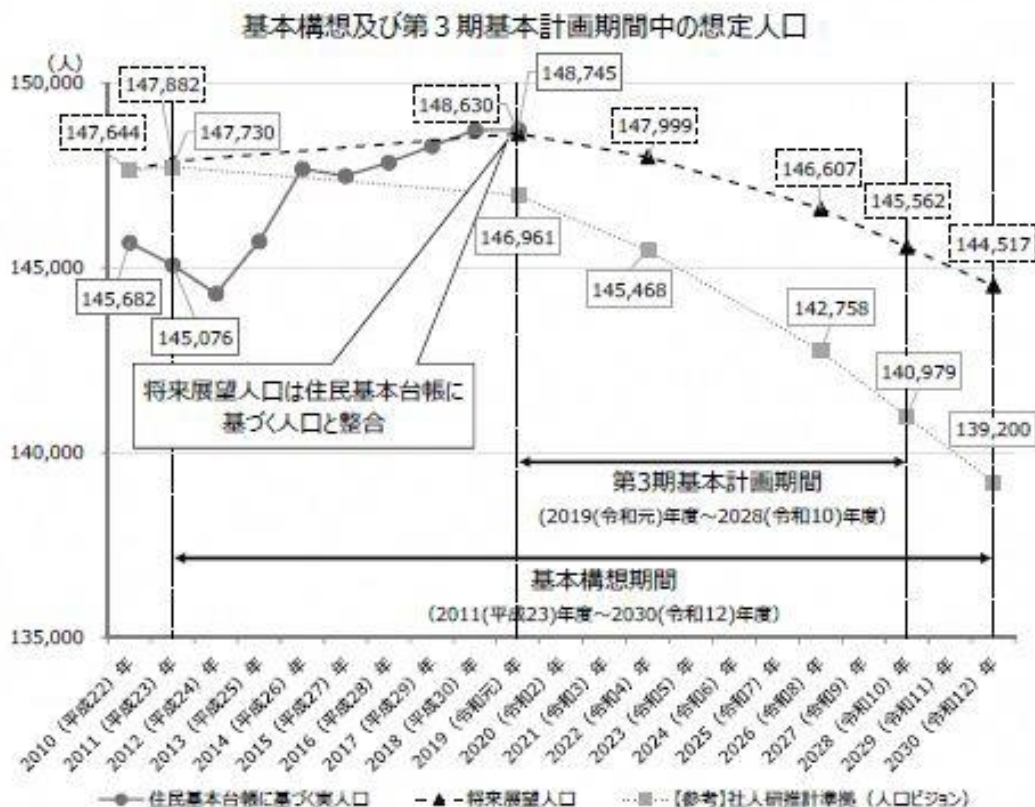
課題① 人口減少社会の到来と少子化・高齢化の進行への対応

第2期基本計画がスタートした2015(平成27)年には、4人に1人であった高齢者の割合が、2019(平成31)年1月1日現在の高齢化率は28.7%となっており、都内26市でも類をみないスピードで高齢化が進行しています。今後もさらに進むと予想されており、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者(75歳以上)に達する2025(令和7)年には、高齢化率は30%を超え、2030(令和12)年には、市民の3人に1人が高齢者になると見込まれます。

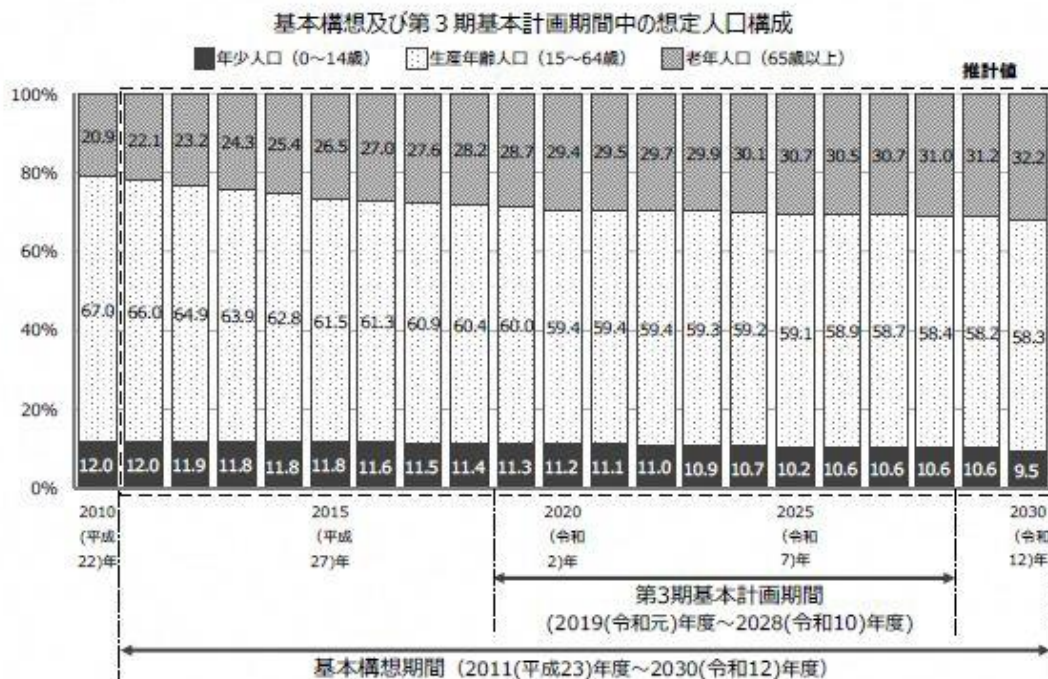
誰もができるだけ長く健康で、生きがいをもって地域で暮らすことができるようにすることは、今後豊かな地域社会を育てていく上で最も重要な視点の一つになると考えられます。高齢化がさらに進むことを踏まえて、ライフステージを通じた健康づくり、保健・医療・介護体制の構築、高齢者の居場所づくりや地域支援体制の構築などを着実に推進することが求められます。



- 本市は1965(昭和40)年代以降の多摩ニュータウン開発に伴い、都市基盤が急速に整備され人口も大幅に増加。
- 本市の過去20年間の人口動態は、2001(平成13)年までは社会減(転出超過)、その後は増減を繰り返す。
- 自然動態(出生及び死亡)は、出生数の減少と死亡数の増加により徐々に減少し、2012(平成24)年にはマイナスとなる。
- 社会動態(転入及び転出)は、2007(平成19)・2013(平成25)年付近は大規模集合住宅の竣工等に起因する社会増(転入超過)による人口増が顕著。近年も集合住宅の竣工等により社会増(転入超過)が継続。
- 本市の人口動態は、多摩ニュータウンの開発から今日まで、特に集合住宅の動向と深い関わりを持っており、人口の受け皿となる住宅の対策が大きな課題。



- 2016（平成28）年に策定した「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において算出した「将来展望人口」によると、総人口は、2019（令和元）年の住民基本台帳に基づく人口 148,745 人から、2028（令和10）年には 145,562 人となり、約 3,000 人の人口減となる見通し。



- 人口構成を見ると、2019（令和元）年の高齢化率 28.7%が、2028（令和10）年には 31.0%へと上昇する見通し。一方、年少人口および生産年齢人口の構成比は低下する見通し。

課題② 若者世代・子育て世代への支援

今後、少子化が進展する中、まちの活力を維持するためにも、若者世代・子育て世代の流入と定住促進に向けて、魅力的なまちづくりを進めることが急務となっています。

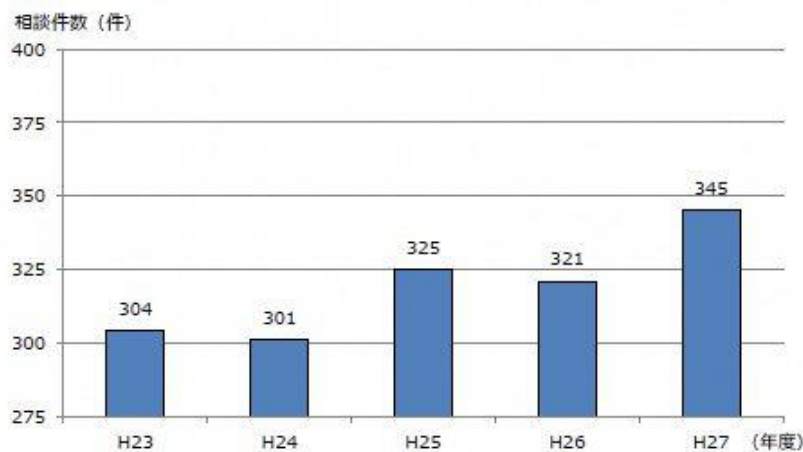
保育所待機児童の解消など子育て・保育環境の充実や、魅力ある教育環境や生活環境の整備が課題となります。また、いじめや不登校、貧困問題、ひきこもりなど、本市においても子ども・若者をめぐる様々な問題が顕在化しており、社会における適切なサポートが求められます。

	平成 29 年
①認可保育所の待機率（0～2才児）	5.9%
②学童クラブの待機児童数	80人
③若者のひきこもり相談件数	5件/年

資料：①子育て支援課、②③児童青少年課

■教育センターにおける、子どもの情緒や発達、学校での悩みやいじめなどに関する教育相談件数（来所）

■ 教育相談（来所）件数の推移



出典：「多摩市の教育」

■不登校児童・生徒の推移

■ 不登校児童・生徒数の推移



出典：「学校基本調査」

課題③ 地域コミュニティの助け合い・支え合いによる地域課題への対応

社会の成熟化に伴い、市民一人ひとりの価値観は多様化し、地域課題は複雑化しています。行政だけでは支えきれないニーズは増加しており、市民が地域の課題解決に取り組んだり、市民や事業者と行政の協働をさらに進めることが、今後一層必要となります。

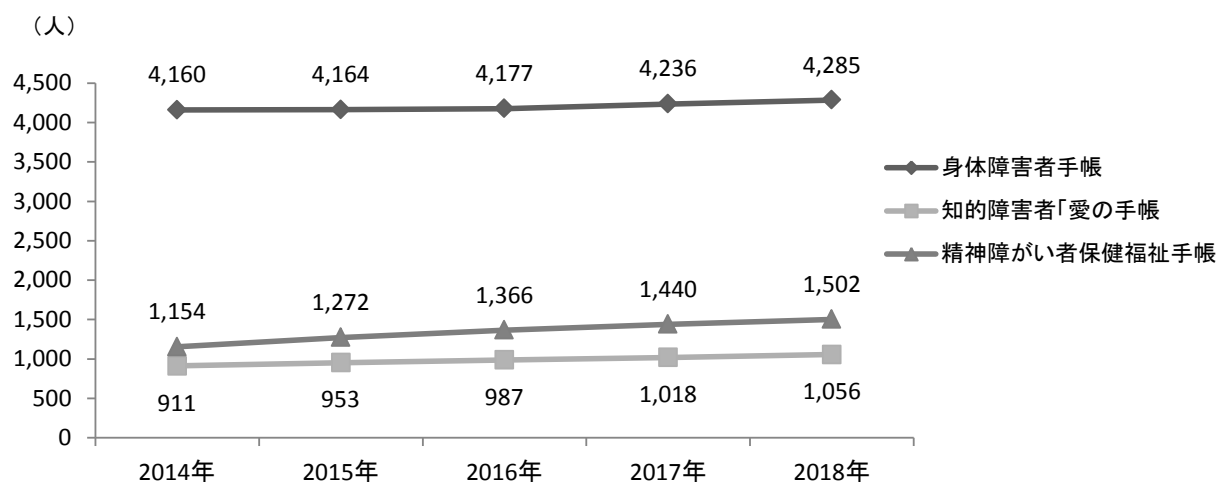
また、地域における人のつながりの希薄化や、地域コミュニティの担い手・支え手不足などの問題は、今後さらに深刻になると見込まれます。高齢であっても、子育て中であっても、障害があっても、だれもが社会の一員として、自分に合った方法で地域の中で活躍できるしくみや環境を整備していくことが重要となります。また、高齢化の更なる進展を見据えると、世代を超えて助け合い・支え合いができる地域づくりが必要となります。

さらには、外国人人口の増加と国籍の多様化や、経済的支援を要する世帯の増加など、様々な不安や悩みを抱える人たちに対する地域ぐるみのきめ細かい支援が求められます。

■高齢者単身世帯の推移



■障がい者手帳所持者数の推移



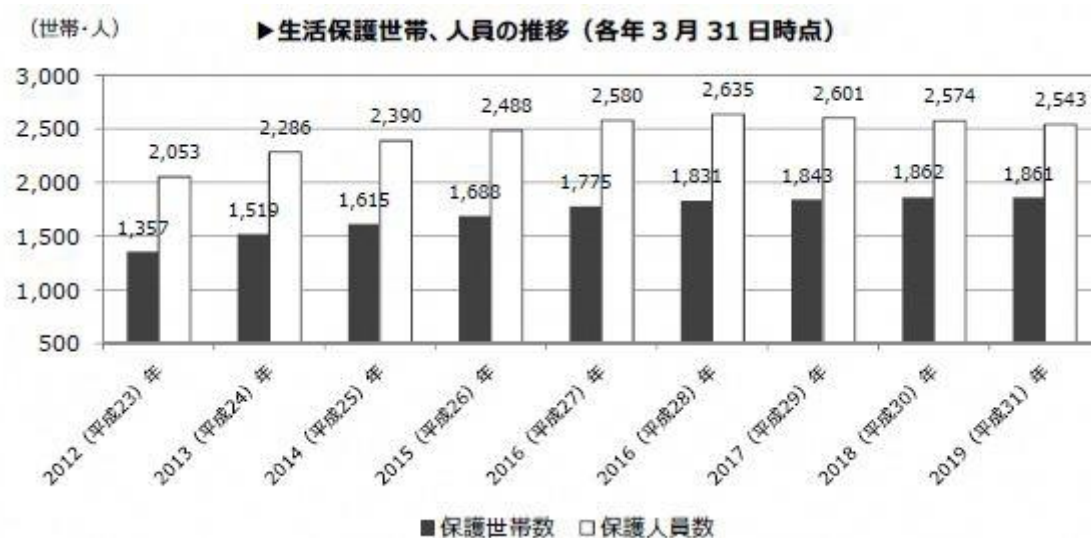
資料：障害福祉課（各年3月31日現在）

■外国人人口の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
中国	856	898	1,025	1,060	1,133
韓国・朝鮮	492	493	517	500	498
フィリピン	233	224	227	229	233
米国	56	59	55	61	62
インド	24	27	24	23	26
ネパール	46	60	71	64	74
タイ	32	31	25	29	36
英国	17	17	16	15	22
その他	291	346	442	464	564
総数	2,047	2,155	2,402	2,445	2,648

資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

■保護世帯・人員の推移



出典：健康福祉部生活福祉課

課題④ 安心・安全なまちづくりに向けた取り組みの推進

防災対策には地域のつながりが不可欠なことから、複数の自主防災組織による合同訓練への補助等を実施してきました。しかしながら、近年頻発する大規模災害に備えるための地域の連携強化など新たな課題が浮上しています。

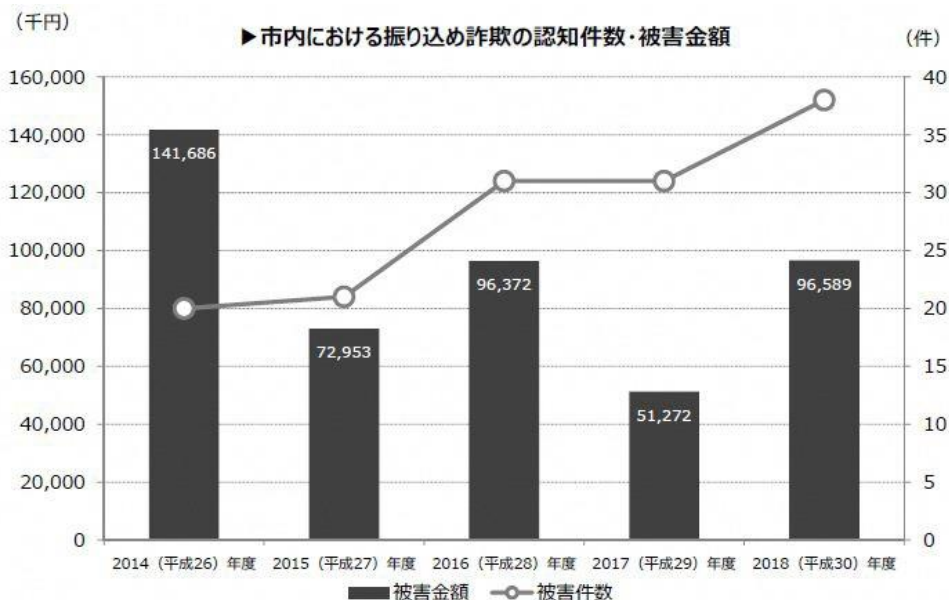
また、近年多摩市では犯罪件数は 1999（平成 11）年をピークに年々減少傾向にあり、2017（平成 29 年）には 1,000 件を下回る状況ですが、一方で特殊詐欺被害件数及び被害額は年々増加していることから、特に被害を受けやすい高齢者を中心に、関係機関や地域と連携し、被害防止に向けた見守りと啓発活動を進めることが課題です。

歩道の拡幅整備やバリアフリー化などを推進するとともに、市民を対象とした安全教育等を実施していますが、交通事故の発生状況は横ばいとなっており、今後一層の対策が必要です。

	平成 29 年度
自主防災組織の組織数	177 組織
消防団員の定員充足率	99.0%
犯罪発生件数（暦年）	993 年
特殊詐欺被害件数（暦年）	31 件

資料：防災安全課

■振り込め詐欺の認知件数・被害額の推移



出典：総務部防災安全課

■交通事故発生状況の推移



出典：多摩中央警察署

課題⑤ 持続可能なまちづくりに向けた取り組みの推進

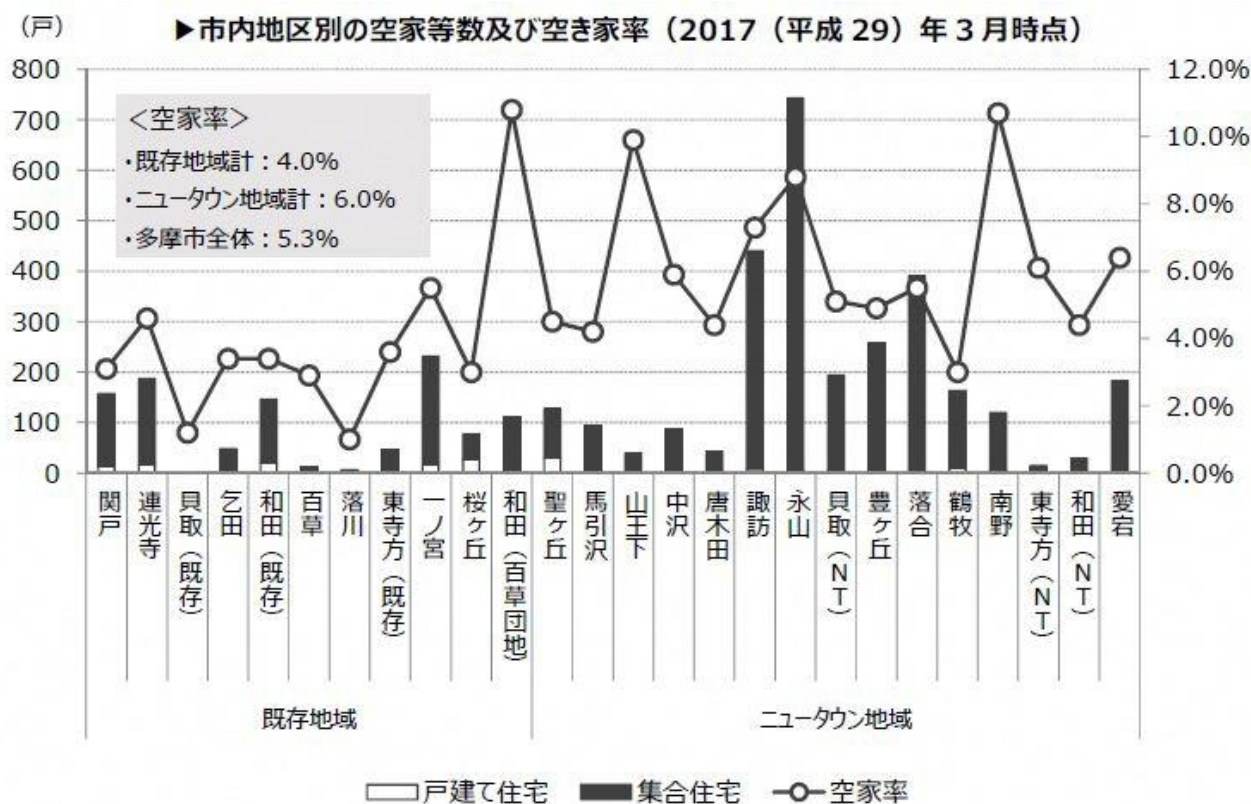
高齢者の増加とそれを支える現役世代の減少は、社会保障費の増大と税収の減少という形で財政運営に重大な影響を及ぼします。まちの成長とともに、昭和 40 年代から 50 年代にかけて集中整備された公共施設が、今後一斉に老朽化し更新時期を迎えると、維持管理費用や更新費用の財政負担が重くのしかかってきます。先を見通した持続可能な行財政運営が一層重要となります。

また、住宅や都市基盤に目を向けると、昭和 40 年代に開発されたニュータウンでは、住民の高齢化や住宅の老朽化など、様々な課題を抱えています。ニュータウン再生に向けた取組を本格化する中、いかに地域の価値を高めて、まちの活性化につながる新たなまちづくりを具体化するかが重要な課題となっています。

さらに、深刻化する地球環境問題への対応は、国、地方自治体、市民が一体となって継続的に取り組まなければならない重要な課題です。引き続き、個々のライフスタイルや事業活動を環境負荷の少ない持続可能なものへと転換していくことが求められると同時に、環境問題を社会・経済の諸課題との関連性において統合的に解決していく視点をもって取組を進めることが特に必要となっています。

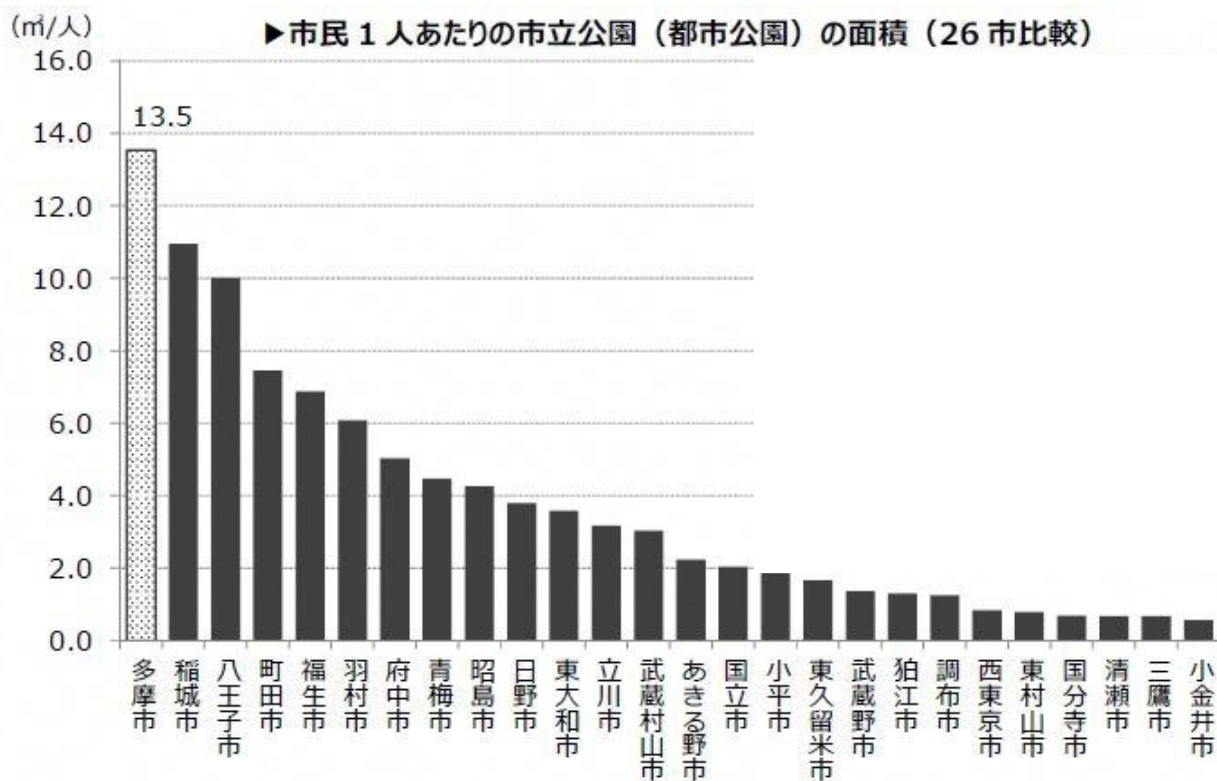
生涯学習施設に関しては、パルテノン多摩の大規模改修や、多摩市立図書館本館の再整備など、大規模な改修工事等に取り組んでいく時期となります。

■空き家数・空き家率の推移



出典：多摩市空家等実態調査

■市民 1 人あたりの市立公園（都市公園）の面積の比較



※数値は 2018（平成 30）年 4 月 1 日時点
出典 東京都建設局公園緑地部管理課「公園調書」、東京都の統計「住民基本台帳」

課題⑥ 生涯学習を通じた豊かな地域社会づくりと新たな地域文化の創出

だれもがこころ豊かに、健康でいきいきと地域で暮らしていくためには、多様な文化・スポーツ、学習活動等を通して自己実現や地域づくりにつなげていくことが必要です。2021（令和 3）年度からの第4次生涯学習推進計画の策定にあたっては、学習機会の充実、情報提供、文化・スポーツ活動等を通じ、生きがいづくりや健康増進と合わせ、市民の社会参加を支援し、地域課題の解決につながる人材の養成や地域づくりを見据えた計画としていく必要があります。

また、2020（令和 2）年には東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され、多摩市も都内最長の自転車競技ロードレースコース（11.8km）の舞台となります。この機会を未来の多摩市のまちづくりにしっかりと活かしていく必要があります。

文化・スポーツの分野においては、現在、市民文化・芸術活動の拠点であるパルテノン多摩の大規模改修工事やスポーツ推進計画の策定に取り組んでいるところですが、文化・スポーツの捉え方や取り巻く環境は大きく変化しています。多摩市文化団体連合や多摩市体育協会、施設の指定管理者、教育委員会、近隣大学・企業等と連携を図りながら、全市域で「多摩市の文化・スポーツ」についての理解を広め、老若男女、障がいの有無を問わず、体力づくり・健康づくり、文化活動への参加を促進していくとともに、これまで以上に文化・スポーツ活動を通じた社会参加、地域づくりの推進が求められています。

社会はグローバル化、人口減少、労働力不足など様々な背景のもとで変化しています。こうした社会の変化に対応したまちづくりを進めていくためには、世代や地域、国籍等を超えた多様な交流・連携が求められており、友好都市及び近隣市との交流、異世代が参加・活動できるような取組とともに、多文化共生社会の実現に向けた取組を進める必要があります。

さらに、まちの歴史と文化の継承、多様な文化芸術活動の機会の提供や支援などを通して、「ふるさと多摩」への愛着と誇り（シビックプライド）を醸成し、豊かな地域社会づくりと新たな地域文化の創出に取り組んでいく必要があります。

■市民の生涯学習活動の状況

この1年くらいの間に、仕事・家事・家業の他に、教養を高めるための学習や、文化・スポーツ・生活・社会問題について学習したことがあるか (単数回答) N=1,593	現在学習している	これまでに学習したことがある	みたい いが、今後学習してみたい	現在学習していないが、今後学習してみたい	学習したいと思わない	無回答
音楽・演劇・美術などの鑑賞や創作	15.1	24.8	29.0	25.8	5.3	
歴史・文学・心理学などの教養的なもの	7.5	16.7	39.0	30.9	5.9	
経済・時事や高齢化などの社会問題の学習	6.8	13.2	44.1	29.8	6.1	
生け花・将棋・手芸などの趣味的なもの	7.6	17.8	32.9	36.8	4.9	
スポーツ・レクリエーションに関するもの	14.6	19.9	33.6	26.5	5.4	
健康法・医学・栄養など健康管理に関するもの	8.0	18.1	49.1	19.5	5.4	
ボランティア活動や地域活動に関するもの	5.2	12.5	39.7	36.6	6.0	

育児・作法・洋裁・料理など生活技術に関するもの	4.0	14.4	36.5	39.2	5.9
郷土芸能など伝統的な地域文化に関するもの	0.8	4.4	36.8	51.5	6.4
仕事に役立つ資格や技能	8.4	19.1	32.5	34.0	6.0
英会話など外国語に関するもの	7.5	16.1	36.1	34.5	5.8
パソコンやインターネットに関するもの	10.4	25.4	32.5	26.3	5.5

資料：「多摩市政世論調査（平成 29 年度）」

- ・多摩市政世論調査（平成 29 年度）によると、「音楽・演劇・美術などの鑑賞や創作」や「スポーツ・レクリエーションに関するもの」で、「現在学習している」、または「これまでに学習したことがある」割合が高い。
- ・また、「健康法・医学・栄養など健康管理に関するもの」や「経済・時事や高齢化などの社会問題の学習」で、「現在学習していないが、今後学習してみたい」割合が高い。

■地域活動や行事、ボランティア活動への参加状況

(単数回答) N=1,593	現在参加している	これまでに参加したことがある	現在参加していないが、今後参加してみたい	参加したいと思わない	無回答
盆踊りやお祭り	9.0	43.7	17.1	25.0	5.1
自治会・管理組合・コミュニティセンター事業	12.1	29.7	15.4	37.0	5.8
道路や公園の草取り等の清掃	8.3	25.9	25.4	34.7	5.8
P T A や父母の会の活動	6.2	23.0	8.2	53.5	9.2
趣味のクラブや文化・スポーツサークル等	12.6	13.9	40.2	27.6	5.8
防災活動	3.9	25.4	38.3	26.3	6.1
防犯活動・交通安全事業	1.8	15.8	38.4	37.1	7.0
子育て支援や青少年健全育成等のボランティア活動	2.1	9.5	33.3	47.8	7.3
高齢者・障がい者のボランティア活動	2.1	6.4	37.6	46.7	7.2
地域の歴史研究、伝統芸能の保存活動	0.7	3.4	39.6	49.2	7.2
国際交流活動	0.8	4.0	37.4	50.8	7.0
観光の振興を図る活動	0.1	2.3	33.8	56.6	7.2

資料：「多摩市政世論調査（平成 29 年度）」

- ・多摩市政世論調査（平成 29 年度）によると、「盆踊りやお祭り」や「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」で、「現在参加している」、または「これまでに参加したことがある」割合が高い。
- ・また、「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」や「地域の歴史研究、伝統芸能の保存活動」「防災活動」「防犯活動・交通安全事業」「国際交流活動」など幅広い分野で、「現在参加していないが、今後参加してみたい」割合が高い。

■多摩市 スポーツ・生涯学習・文化施設一覧

公民館	多摩市立永山公民館
	多摩市立関戸公民館
多摩市立TAMA女性センター	
多摩市消費生活センター	
中学校	多摩市立鶴牧中学校
	多摩市立多摩永山中学校
	多摩市立和田中学校
文化財関係施設	旧加藤家
	旧富澤家
	旧多摩聖蹟記念館
多摩市立総合体育館	
野球場・公園球技場	諏訪南公園野球場兼球技場
	一本杉公園野球場
	貝取南公園野球場
	関戸公園野球場
	諏訪北公園野球場
	一ノ宮公園球技場
	宝野公園球技場
	和田公園球技場
貝取南公園球技場	
多摩市立武道館	
多摩市立温水プール	
大谷戸公園キャンプ練習場	
庭球場	庭球場（奈良原以外）
	奈良原公園庭球場
市民ホール	東寺方地区市民ホール
	諏訪地区市民ホール
	豊ヶ丘地区市民ホール
多摩市総合福祉センター	
コミュニティセンター・会館	関戸・一ノ宮コミュニティセンター
	桜ヶ丘コミュニティセンター
	乞田・貝取コミュニティセンター
	鶴牧・落合・南野コミュニティセンター
	貝取コミュニティセンター
	聖ヶ丘コミュニティセンター
	愛宕コミュニティセンター
	唐木田コミュニティセンター
	和田・東寺方コミュニティセンター
三方の森コミュニティ会館	
パルテノン多摩	
図書館	多摩市立図書館（本館）
	東寺方図書館
	豊ヶ丘図書館
	関戸図書館
	聖ヶ丘図書館
	永山図書館
	唐木田図書館
	行政資料室

■公民館利用状況の推移

		2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29
永山公民館	件数	8,074	8,097	7,990	7,757	7,520
	利用人員	108,574	109,599	111,065	105,786	103,158
関戸公民館	件数	6,914	7,158	6,703	6,619	6,627
	利用人員	89,979	95,954	92,484	91,406	93,607
合計	件数	14,988	15,255	14,693	14,376	14,147
	利用人員	198,553	205,553	203,549	197,192	196,765

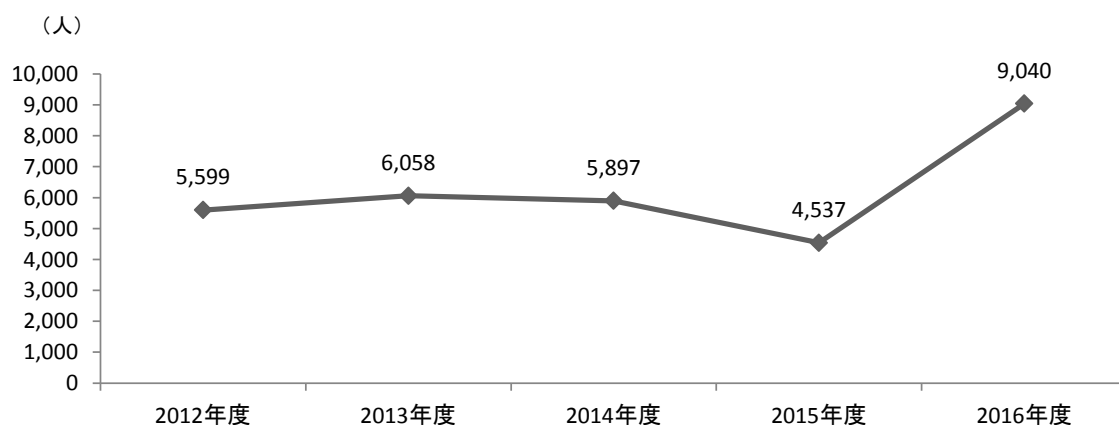
資料：教育部 永山公民館・関戸公民館

■学校開放の件数の推移

	2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29
体育館	7,570	7,127	7,345	7,638	7,557
校庭	4,290	2,715	2,833	2,580	2,328
特別・普通教室	2,204	2,465	2,331	2,349	2,507
テニスコート	902	637	649	719	637
夜間照明設備付校庭	469	420	468	467	440
クラブハウス	6,489	5,887	5,730	5,591	5,666
プール	8	6	10	11	9
陶芸窯	-	63	59	71	67
総数	21,932	19,320	19,425	19,426	19,211

資料：「多摩市の教育 平成 27 年度実績」・「統計たま 平成 30 年版」

■文化財関係施設の見学者等の推移



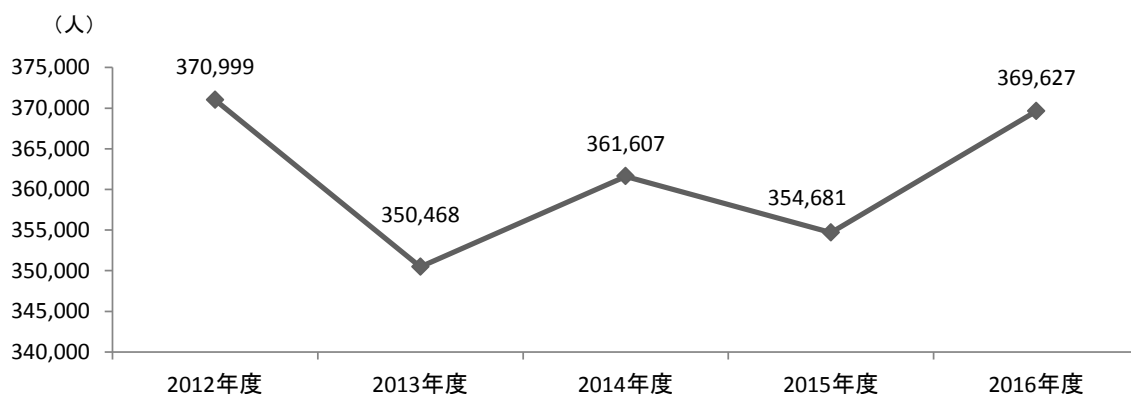
資料：教育振興課

■総合体育館利用状況の推移

	2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29
総数	72,766	178,827	199,692	204,004	200,884
個人利用	19,397	72,357	94,311	103,960	106,620
団体利用	46,869	96,927	92,677	87,435	82,058
会議室	6,500	9,543	12,704	12,609	12,206

※平成 24 年～平成 25 年にかけて、大規模改修工事を実施。
資料：スポーツ振興課

■温水プール利用者数の推移



資料：スポーツ振興課

■地区市民ホール利用状況の推移

	2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29
館数	3	3	3	3	3
開催日数	1,029	1,033	1,041	1,034	1,031
利用人員	43,417	45,506	46,834	41,401	38,623
1日平均	42	44	45	40	38

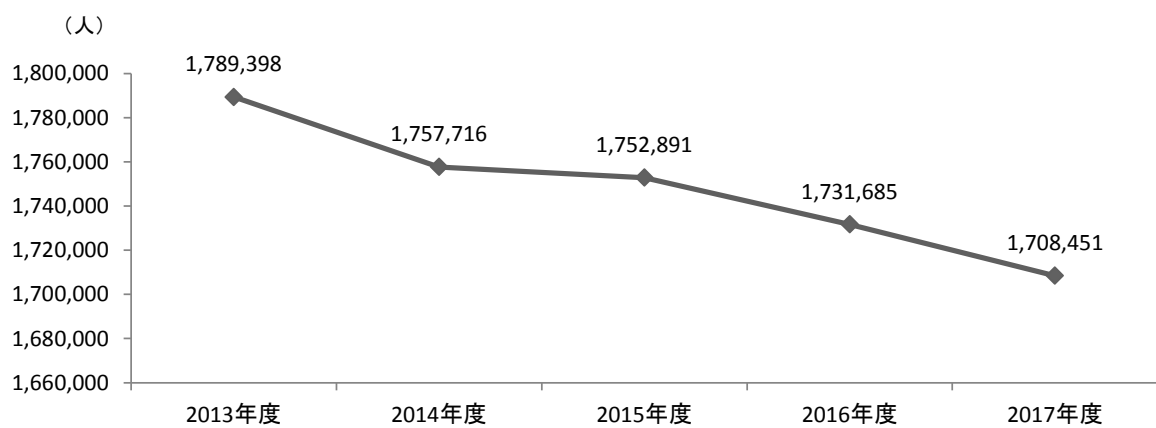
※開館日数は各館の開催日数の合計
資料：くらしと文化部コミュニティ・生活課

■コミュニティセンター・コミュニティ会館利用状況の推移

	2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29
館数	8	9	9	9	10
開催日数	2,684	2,716	3,022	3,013	3,038
利用人員	325,799	324,704	332,025	334,613	315,997
1日平均	121	120	110	111	104

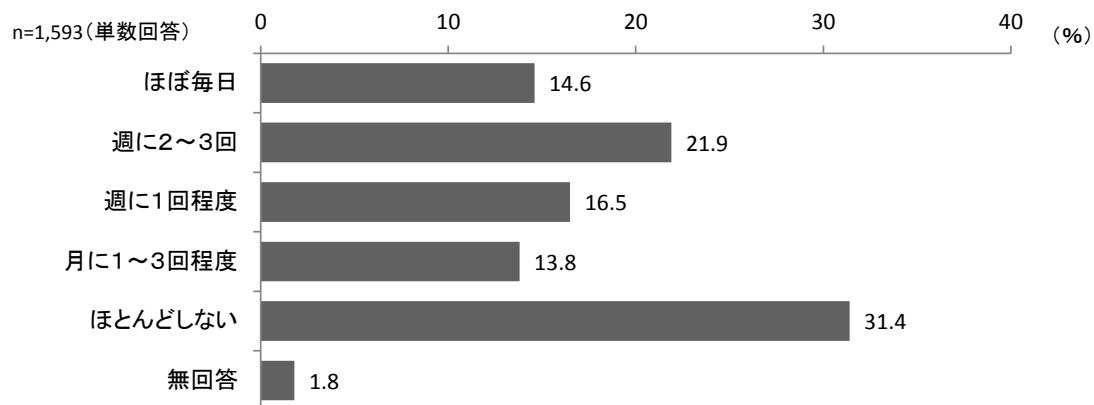
※開館日数は各館の開催日数の合計
資料：くらしと文化部コミュニティ・生活課

■ 図書貸出冊数の推移



資料：図書館

■ この1年間にスポーツ（体操やウォーキング等含む）をどの程度したか



資料：「多摩市政世論調査（平成 29 年度）」